



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月12日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8041 URL <https://www.oug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝田 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営基盤グループ・CSR担当 (氏名) 中江 一夫 TEL 06-4804-3033
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	319,813	△1.7	1,439	△39.1	1,621	△35.3	1,192	△26.3
2019年3月期	325,268	0.4	2,362	17.7	2,505	55.2	1,617	—

(注) 包括利益 2020年3月期 △364百万円 (—%) 2019年3月期 1,637百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	214.88	—	5.6	2.2	0.5
2019年3月期	291.43	—	7.7	3.2	0.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	70,414	20,992	29.8	3,782.19
2019年3月期	78,657	21,692	27.6	3,907.66

(参考) 自己資本 2020年3月期 20,992百万円 2019年3月期 21,692百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	4,120	△1,439	△3,273	2,142
2019年3月期	2,748	△690	△2,227	2,734

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00	333	20.6	1.6
2020年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00	333	27.9	1.6
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想については、現時点で業績予想の算定が困難であるため、未定とさせていただきます、可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現時点では合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	5,562,292株	2019年3月期	5,562,292株
② 期末自己株式数	2020年3月期	11,830株	2019年3月期	11,002株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	5,550,905株	2019年3月期	5,551,520株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,895	△14.7	832	△24.6	848	△25.1	752	△30.3
2019年3月期	2,222	△13.2	1,103	25.7	1,132	268.6	1,080	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	135.60	—
2019年3月期	194.60	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	31,154	16,005	51.4	2,883.58
2019年3月期	35,754	16,850	47.1	3,035.47

(参考) 自己資本 2020年3月期 16,005百万円 2019年3月期 16,850百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現時点では合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
(5) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. 個別財務諸表	13
(1) 貸借対照表	14
(2) 損益計算書	15
(3) 株主資本等変動計算書	16
5. その他	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、第3四半期連結累計期間においては、景気の回復には中国経済減速の影響等により輸出や生産の一部に弱い動きがみられるものの、企業収益、雇用・所得環境、個人消費、設備投資は総じて堅調であり、全体として緩やかな回復基調にありました。

しかしながら、第4四半期に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による国内外の経済活動の停滞から、景気は急速に悪化しており、極めて厳しい状況にあります。

足元では、企業収益、雇用情勢、個人消費、輸出、生産に急速な悪化や弱い動きがみられます。消費者心理は、新型コロナウイルスの終息やその後の雇用・所得環境などの経済情勢の先行き不透明感から極めて厳しい状況にあります。また、消費者購買行動は、新型コロナウイルス拡大防止に伴う外出自粛から食料品などの日用品購買が中心になっていますが、節約志向は依然として続いています。

水産物流通業界におきましては、第2四半期連結累計期間においては、輸入水産物及び国内水産物とも一部高騰魚種については価格調整局面にあったものの、総じて調達価格は高い水準にありました。第3四半期においては、価格調整が進行し販売価格は下落傾向にあり、また、サンマ等の不漁により販売数量が減少するなど収益確保が難しい状況にありました。第4四半期に入ると、特に3月頃から新型コロナウイルス拡大防止に伴う入国制限や外出自粛の影響により、外食・ホテル・百貨店関連の需要が急激に落ち込み、業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられる中、極めて厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

当連結会計年度の経営成績は、売上高は319,813百万円(前年同期比98.3%)となりました。損益面では、売上総利益は23,022百万円(前年同期比97.2%)となり、営業利益1,439百万円(前年同期比60.9%)、経常利益1,621百万円(前年同期比64.7%)、親会社株主に帰属する当期純利益1,192百万円(前年同期比73.7%)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、販売単価は若干上昇したものの取扱数量の減少により売上高200,183百万円(前年同期比95.7%)となり、間接経費全般の節減に努めましたが売上総利益率の低下によりセグメント利益1,009百万円(前年同期比64.9%)となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、一部魚種の相場下落等により販売単価は低下したものの販売数量の増加により売上高117,343百万円(前年同期比102.3%)となり、売上高の増加、売上総利益率の改善によりセグメント利益111百万円(前年同期比はセグメント損失133百万円)となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売単価は低下したものの販売数量の増加により売上高9,678百万円(前年同期比102.8%)となりましたが、販売費の増加などによりセグメント利益290百万円(前年同期比36.5%)となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、販売数量の増加により売上高4,859百万円(前年同期比103.2%)となりましたが、売上総利益率の低下等に加え、新型コロナウイルスの影響による需要の減少によりセグメント損失206百万円(前年同期はセグメント損失65百万円)となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱い数量の減少により売上高1,974百万円(前年同期比96.7%)、セグメント損失29百万円(前年同期はセグメント損失36百万円)となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高5,088百万円(前年同期比98.1%)、セグメント利益126百万円(前年同期比139.8%)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比べて8,243百万円減少し、70,414百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少6,917百万円、投資有価証券の減少1,893百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて7,543百万円減少し、49,421百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3,790百万円、借入金の減少2,764百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて699百万円減少し、20,992百万円(自己資本比率29.8%)となりました。主な要因は、利益剰余金の増加が946百万円ありましたが、その他有価証券評価差額金の減少1,315百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて591百万円減少し、2,142百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは4,120百万円の収入(前年同期は2,748百万円の収入)となりました。仕入債務の減少4,079百万円(前年同期は2,727百万円の増加)がありましたが、売上債権の減少6,965百万円(前年同期は520百万円の増加)、税金等調整前当期純利益の計上1,771百万円(前年同期は2,429百万円の計上)が主な資金の増加要因となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,439百万円の支出(前年同期は690百万円の支出)となりました。有形固定資産の取得による支出1,623百万円(前年同期は692百万円の支出)が主な資金の減少要因となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは3,273百万円の支出(前年同期は2,227百万円の支出)となりました。借入金の減少による純支出2,764百万円(前年同期は1,539百万円の純支出)、ファイナンス・リース債務の返済による支出174百万円(前年同期は298百万円の支出)、配当金の支払331百万円(前年同期は386百万円の支払)が主な資金の減少要因となりました。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、経営の基本方針のもと、経営の効率化を図り収益性の強化に努め、株主の皆様への安定かつ継続的な利益還元を行う株主重視の姿勢に立ちます。また、利益配分につきましては、安定的な配当とともに経営基盤の安定強化にも留意してまいります。

当期の1株当たり期末配当金は60円を予定しております。なお、次期の1株当たり期末配当金につきましては、現時点で業績予想の算定が困難であるため未定とさせていただきます。可能となった時点で速やかに公表いたします。

(5) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスが終息し、その後の国内外の経済活動が回復するには相応の時間を要するものと想定され、厳しい経済情勢が続くものと見込まれます。

水産物流通業界におきましては、新型コロナウイルスの影響により、仕入面では輸入水産物については調達の一部制約を受け、また、販売面では外食・ホテル・百貨店関連の需要低迷が継続し、海外での感染状況により輸出業務が滞るなどの事態が懸念されます。

このような状況の中、消費者の日常消費に対する節約志向は継続し、業種・業態の垣根を越えた販売競争が継続するなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大および業績への影響を最小限に抑えるべく注力します。あわせてコア事業である「水産物荷受事業」及び「市場外水産物卸売事業」、また、コア事業を支える「養殖事業」の事業基盤の強化を図るとともに、グループ内の加工機能、物流機能を最大限活用し、グループ総合力の発揮により顧客が求める価値を提供してまいります。そのためにグループ一体的な取組みを更に推進していくことを踏まえ、グループ各社における経営管理体制および経営基盤の強化に努めてまいります。

次期の業績に関しましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現時点では合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を確保するため、また、海外からの資金調達を行っていないことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,739	2,147
受取手形及び売掛金	32,836	25,918
商品及び製品	23,288	23,783
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	398	285
その他	491	613
貸倒引当金	△168	△97
流動資産合計	59,584	52,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,206	11,002
減価償却累計額	△8,600	△8,388
建物及び構築物(純額)	2,606	2,614
機械装置及び運搬具	5,714	5,758
減価償却累計額	△4,459	△4,326
機械装置及び運搬具(純額)	1,255	1,432
工具、器具及び備品	1,660	2,020
減価償却累計額	△1,227	△1,287
工具、器具及び備品(純額)	432	732
土地	6,663	6,481
リース資産	326	326
減価償却累計額	△268	△313
リース資産(純額)	57	12
建設仮勘定	10	11
有形固定資産合計	11,026	11,285
無形固定資産		
投資その他の資産	211	308
投資有価証券	6,306	4,413
長期貸付金	40	84
退職給付に係る資産	305	82
破産更生債権等	340	293
繰延税金資産	379	762
その他	836	858
貸倒引当金	△372	△324
投資その他の資産合計	7,835	6,170
固定資産合計	19,073	17,764
資産合計	78,657	70,414

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,635	17,845
短期借入金	17,080	14,469
1年内返済予定の長期借入金	4,693	3,071
リース債務	174	68
未払法人税等	386	267
未払消費税等	175	147
賞与引当金	729	718
その他	3,711	3,092
流動負債合計	48,587	39,681
固定負債		
長期借入金	4,962	6,430
リース債務	75	6
繰延税金負債	97	4
再評価に係る繰延税金負債	283	245
退職給付に係る負債	2,373	2,472
役員退職慰労引当金	132	128
資産除去債務	170	166
その他	281	286
固定負債合計	8,377	9,740
負債合計	56,965	49,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	7,508	8,455
自己株式	△25	△27
株主資本合計	20,069	21,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,034	718
繰延ヘッジ損益	4	8
土地再評価差額金	△356	△443
退職給付に係る調整累計額	△60	△304
その他の包括利益累計額合計	1,623	△21
純資産合計	21,692	20,992
負債純資産合計	78,657	70,414

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	325,268	319,813
売上原価	301,593	296,791
売上総利益	23,675	23,022
販売費及び一般管理費	21,312	21,583
営業利益	2,362	1,439
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	117	117
補助金収入	59	47
受取賃貸料	40	42
その他	164	196
営業外収益合計	383	407
営業外費用		
支払利息	198	195
その他	42	30
営業外費用合計	241	225
経常利益	2,505	1,621
特別利益		
投資有価証券売却益	64	—
受取保険金	41	7
固定資産売却益	—	331
特別利益合計	105	338
特別損失		
減損損失	103	61
災害による損失	62	60
固定資産除却損	14	53
投資有価証券評価損	—	14
特別損失合計	181	189
税金等調整前当期純利益	2,429	1,771
法人税、住民税及び事業税	575	426
法人税等調整額	236	151
法人税等合計	811	578
当期純利益	1,617	1,192
親会社株主に帰属する当期純利益	1,617	1,192

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,617	1,192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△1,315
繰延ヘッジ損益	16	3
退職給付に係る調整額	7	△244
その他の包括利益合計	19	△1,557
包括利益	1,637	△364
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,637	△364
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,495	6,090	6,260	△23	18,822
当期変動額					
剰余金の配当			△388		△388
親会社株主に帰属する当期純利益			1,617		1,617
連結範囲の変動			18		18
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,247	△1	1,246
当期末残高	6,495	6,090	7,508	△25	20,069

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,039	△11	△356	△67	1,603	20,426
当期変動額						
剰余金の配当						△388
親会社株主に帰属する当期純利益						1,617
連結範囲の変動						18
自己株式の取得						△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4	16	—	7	19	19
当期変動額合計	△4	16	—	7	19	1,266
当期末残高	2,034	4	△356	△60	1,623	21,692

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,495	6,090	7,508	△25	20,069
当期変動額					
剰余金の配当			△333		△333
親会社株主に帰属する当期純利益			1,192		1,192
土地再評価差額金の取崩			86		86
自己株式の取得				△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	946	△2	944
当期末残高	6,495	6,090	8,455	△27	21,013

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,034	4	△356	△60	1,623	21,692
当期変動額						
剰余金の配当						△333
親会社株主に帰属する当期純利益						1,192
土地再評価差額金の取崩						86
自己株式の取得						△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,315	3	△86	△244	△1,644	△1,644
当期変動額合計	△1,315	3	△86	△244	△1,644	△699
当期末残高	718	8	△443	△304	△21	20,992

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,429	1,771
減価償却費	876	926
減損損失	103	61
固定資産売却損益(△は益)	△2	△328
固定資産除却損	2	61
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△119
退職給付に係る資産又は負債の増減額	13	76
受取利息及び受取配当金	△118	△121
支払利息	198	195
売上債権の増減額(△は増加)	△520	6,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,497	△382
仕入債務の増減額(△は減少)	2,727	△4,079
未払消費税等の増減額(△は減少)	9	△162
その他	△383	△96
小計	2,838	4,767
利息及び配当金の受取額	118	120
利息の支払額	△207	△193
法人税等の支払額	△490	△573
法人税等の還付額	489	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,748	4,120
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△692	△1,623
有形固定資産の売却による収入	3	510
投資有価証券の取得による支出	△20	△19
長期貸付けによる支出	△7	△74
長期貸付金の回収による収入	15	30
その他	12	△262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△690	△1,439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,707	△2,610
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△298	△174
長期借入れによる収入	2,500	4,573
長期借入金の返済による支出	△1,332	△4,726
自己株式の取得による支出	△1	△2
配当金の支払額	△386	△331
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,227	△3,273
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△168	△591
現金及び現金同等物の期首残高	2,891	2,734
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,734	2,142

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、純粋持株会社として各グループ会社の経営管理を行い、各グループ会社は、水産物卸売事業を中心に事業活動を展開しております。なお、「水産物荷受事業」、「市場外水産物卸売事業」、「養殖事業」、「食品加工事業」、「物流事業」の5つを報告セグメントとしております。

「水産物荷受事業」は、「卸売市場法」に基づき卸売市場において水産物の販売を行っております。

「市場外水産物卸売事業」は、卸売市場外において水産物の販売を行っております。「養殖事業」は、鮮魚の養殖を行っております。「食品加工事業」は、水産物を主とした食品の加工を行っております。「物流事業」は、水産物を主とした物流を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	200,848	111,457	5,856	2,335	912	321,412	3,856	325,268	—	325,268
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,351	3,222	3,560	2,372	1,127	18,634	1,329	19,963	△19,963	—
計	209,200	114,679	9,417	4,708	2,040	340,046	5,185	345,232	△19,963	325,268
セグメント利益 又は損失(△)	1,556	△133	797	△65	△36	2,119	90	2,209	153	2,362

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	191,695	114,479	6,583	2,495	851	316,104	3,709	319,813	—	319,813
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,488	2,864	3,094	2,364	1,122	17,934	1,378	19,313	△19,313	—
計	200,183	117,343	9,678	4,859	1,974	334,039	5,088	339,127	△19,313	319,813
セグメント利益 又は損失(△)	1,009	111	290	△206	△29	1,175	126	1,301	138	1,439

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸
事業及び水産物小売事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	854	786
全社費用※	△700	△647
合計	153	138

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,907.66円	3,782.19円
1株当たり当期純利益	291.43円	214.88円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,617	1,192
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,617	1,192
普通株式の期中平均株式数(株)	5,551,520	5,550,905

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17	19
前払費用	35	56
未収収益	7	5
関係会社短期貸付金	9,600	6,300
その他	680	464
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,340	6,845
固定資産		
有形固定資産		
建物	593	558
構築物	19	17
工具、器具及び備品	29	27
土地	1,757	1,757
リース資産	80	314
建設仮勘定	—	6
有形固定資産合計	2,481	2,681
無形固定資産		
ソフトウェア	12	110
ソフトウェア仮勘定	26	35
リース資産	21	12
その他	0	0
無形固定資産合計	60	157
投資その他の資産		
投資有価証券	5,638	3,815
関係会社株式	16,394	16,394
関係会社長期貸付金	3,061	3,135
繰延税金資産	711	1,124
その他	69	73
貸倒引当金	△3,001	△3,072
投資その他の資産合計	22,872	21,470
固定資産合計	25,414	24,309
資産合計	35,754	31,154

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	8,900	5,660
1年内返済予定の長期借入金	4,456	2,724
リース債務	193	163
未払金	107	159
未払費用	8	6
未払法人税等	77	54
前受金	9	10
預り金	31	4
賞与引当金	15	15
流動負債合計	13,800	8,797
固定負債		
長期借入金	4,618	5,704
リース債務	125	319
債務保証損失引当金	146	111
資産除去債務	7	7
長期預り保証金	206	210
その他	0	—
固定負債合計	5,103	6,351
負債合計	18,903	15,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金		
資本準備金	6,144	6,144
その他資本剰余金	4	4
資本剰余金合計	6,149	6,149
利益剰余金		
利益準備金	858	858
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,445	1,864
利益剰余金合計	2,303	2,723
自己株式	△25	△27
株主資本合計	14,923	15,340
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,927	664
評価・換算差額等合計	1,927	664
純資産合計	16,850	16,005
負債純資産合計	35,754	31,154

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		
関係会社受取配当金	880	616
経営管理料	743	709
情報サービス売上高	350	316
賃貸収入	161	162
金融収益	86	89
売上高合計	2,222	1,895
売上原価		
情報サービス売上原価	283	253
賃貸原価	108	88
金融費用	61	64
売上原価合計	454	406
売上総利益	1,768	1,489
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	329	328
従業員賞与	16	15
賞与引当金繰入額	15	15
法定福利及び厚生費	46	44
減価償却費	9	10
租税公課	20	27
雑費	113	110
その他	113	104
販売費及び一般管理費合計	665	657
営業利益	1,103	832
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	102	101
雑収入	67	38
営業外収益合計	169	139
営業外費用		
支払利息	60	53
雑損失	80	70
営業外費用合計	141	123
経常利益	1,132	848
特別損失		
投資有価証券評価損	—	14
特別損失合計	—	14
税引前当期純利益	1,132	834
法人税、住民税及び事業税	△246	△50
法人税等調整額	298	132
法人税等合計	52	81
当期純利益	1,080	752

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金			
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	6,495	6,144	4	858	1,446	△692	△23	14,232
当期変動額								
別途積立金の取崩					△1,446	1,446		-
剰余金の配当						△388		△388
当期純利益						1,080		1,080
自己株式の取得							△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	△1,446	2,137	△1	690
当期末残高	6,495	6,144	4	858	-	1,445	△25	14,923

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	1,838	16,071
当期変動額		
別途積立金の取崩		-
剰余金の配当		△388
当期純利益		1,080
自己株式の取得		△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	88	88
当期変動額合計	88	779
当期末残高	1,927	16,850

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
当期首残高	6,495	6,144	4	858	1,445	△25	14,923
当期変動額							
剰余金の配当					△333		△333
当期純利益					752		752
自己株式の取得						△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	419	△2	417
当期末残高	6,495	6,144	4	858	1,864	△27	15,340

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	1,927	16,850
当期変動額		
剰余金の配当		△333
当期純利益		752
自己株式の取得		△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,262	△1,262
当期変動額合計	△1,262	△845
当期末残高	664	16,005

5. その他

役員の異動(2020年6月26日付予定)

(1) 退任予定取締役

取締役 増田 安利 (現 総合企画グループ、情報企画グループ担当)

(注) 増田安利氏は、2020年6月26日付で当社顧問(非常勤)に就任予定であります。

(2) 新任監査役候補

監査役(常勤) 辰 清広 (現 株式会社うおいち 常務執行役員)

(注) 辰清広氏は、2020年5月30日付で株式会社うおいち常務執行役員を退任予定であります。

社外監査役(非常勤) 石川 英機 (現 農林中央金庫 営業企画部参事役)

(注) 石川英機氏は、2020年5月29日付で農林中央金庫を退職し、2020年5月30日付で株式会社ショク
クリュー監査役(常勤)に就任予定であります。

(3) 退任予定監査役

監査役(常勤) 玉田 耕也

社外監査役(非常勤) 伊藤 博通 (現 株式会社うおいち 監査役)

(注) 伊藤博通氏は、2020年5月30日付で株式会社うおいち監査役(常勤)を退任予定であります。

(4) 執行役員の異動(新任)

執行役員(総合企画グループ担当) 中村 耕 (現 経営監査室部長)